

第9次森町総合計画の策定方針について

第8次森町総合計画の目標年次が平成27年度となっていることから、平成27、28年度の2年間において、町政の中長期的な指針となる新たな総合計画（第9次森町総合計画）の策定を行う。

1 策定の方針

次の点に留意し、総合計画の策定を推進することとする。

（1）町民と行政との協働作業での策定

平成27年度に実施した「町民アンケート調査」や今年度設置する「まちづくり検討会」の開催や「町長と語る会」の実施など、総合計画の策定に際し、町民の積極的な参加を促進し、町民と協働して策定することとする。

（2）全職員の参加を基本とした策定

職員の経験や情報を共有化していくためにも、全職員の参加を基本として策定作業を進めることとする。

（3）まちづくりの基軸となる戦略的な計画

限られた行政経営資源（人、もの、財源、情報、時間）を最適配分し、選択と集中の政策判断を支援していくために、「目的」と「手段」が明確化された政策体系を構築するとともに、可能な範囲で目標値等を示す計画とする。

（4）人口減少化、少子高齢化社会における対策を重視した計画

地域経営の主体として、人口減少対策を講じつつ、引き続き持続可能な形で行政サービスを提供すると同時に、地方創生の実現に向けて、必要な各種施策及び事業を盛り込んだ計画とする。

（5）他の各種計画等との整合が図られた計画

他の各種計画との整合を図るとともに、平成27年度に策定した森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略と整合性を図った計画を策定する。

（6）簡潔で読みやすい形態

出来る限り、多くの町民に読まれ、活用していただけるよう、読みやすい簡潔な形態とする。

2 目標年次

平成37年度（2025年度）を目標年次に掲げながら、必要に応じて、見直しを検討するものとする。

（計画期間：平成28年度～平成37年度の10年間）

3 計画の構成

総合計画は、「基本構想」及び「基本計画」を主な構成とする。

- 森町の「将来像」を掲げ、まちづくりの柱となる「基本目標」、それらを達成するための基本理念等を提示
- 基本目標を達成するために必要な施策の基本的な方向を提示
- 基本目標ごとに、課題と目標を掲げ、推進する主な施策等を提示
- 計画の推進にあたって留意すべきことなどを提示
- なお、どこの部分まで基本構想に盛り込んでいくかなどについては、今後、策定作業の効率性、まちづくり検討会及び総合計画審議会などの協議状況などを踏まえ、検討していくものとする。